

事業成果報告書

〔取組Ⅰ〕 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 福岡県教育委員会
2. 取組の名称 : 福岡県小中一貫教育調査研究事業
※事業完了報告書表紙の「1. 事業の名称」と同じ名称になります。

3. 事業の実績

(1) 事業のねらい

中1ギャップの解消、学習意欲の向上、チャレンジ精神や自尊感情の高揚等の一方策となり得る小中一貫教育について、協力町の教育委員会及びモデル校における取組の成果と課題を分析するとともに、県内の先進的取組事例を収集し、福岡県小中一貫教育の手引(案)を作成することによって、本県の市町村における小中一貫教育実施に係る取組を支援する。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体のねらいについて、簡潔に記載すること。
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 事業の実施状況

協力町である篠栗町を指定し、篠栗町教育委員会並びにモデル校である篠栗北中学校及び北勢門小学校を支援し、篠栗町の取組の成果と課題の分析等の調査研究を行っている。協力町においては、小中学校の教職員が9年間の見通しをもって子供を育てることが意識できるように、小中の合同研究会を実施している。また、モデル校において研究発表会を開催することにより、小中一貫教育のとらえや目的、取組の成果の普及を図った。さらに、県内外の先進的取組事例の収集、福岡県小中一貫教育推進協議会における協議をとおして、福岡県小中一貫教育の手引(案)を作成した。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体の実施状況について、簡潔に記載すること。
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(3) 事業の成果

県内外の先進的取組事例を収集することができた。
篠栗町立篠栗北中学校・北勢門小学校小中一貫教育研究発表会の開催により、小中一貫教育のとらえや目的、取組の成果を普及することができた。特に、協力町の篠栗町の小中学校の教職員は、9年間で子供を育てるという意識をもって教育活動に取り組むことができてきている。
市町村教育委員会や学校の小中一貫教育実施に係る取組を支援するための福岡県小中一貫教育の手引(案)を作成することができた。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体の成果について、簡潔に記載すること。
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(4) 今後の取組予定

- 先進的取組事例の収集
 - ・ 協力町への情報提供及び福岡県小中一貫教育の手引への反映
- 福岡県小中一貫教育の手引の作成
 - ・ 福岡県小中一貫教育推進協議会における協議
 - ・ 県内の先進的取組を行っている市町への事例提供の依頼

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体の今後の取組予定について、簡潔に記載すること。
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

4. 取組 I の実績

(1) 取組のねらい

文部科学省が定める小中一貫教育推進事業委託要項に基づき、小中一貫教育実施に係る効果的な取組に関する調査研究を行い、県内の市町村における小中一貫教育の推進に資する効果的な取組の普及を図る。

※ [取組 I] において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。
 ※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組 I の実施状況 (平成29年度)

4月	○ 小中一貫教育の導入状況調査結果をもとにした成果と課題の分析
5月	○ 協力町教育委員会及びモデル校訪問指導
6月	
7月	○ 平成29年度第1回福岡県小中一貫教育推進協議会 ・【報告】小中一貫教育の導入状況調査結果からみられる課題について ・【報告】生涯学習社会の基礎を培う教育活動の創造 (篠栗町教育委員会) ・【協議】福岡県小中一貫教育の手引 (案) について ○ 協力町教育委員会及びモデル校訪問指導
8月	○ 協力町教育委員会及びモデル校訪問指導
9月	
10月	
11月	○ 協力町教育委員会及びモデル校訪問指導 ○ 先進地視察 (神奈川県教育委員会及び海老名市教育委員会)
12月	○ 平成29年度第2回福岡県小中一貫教育推進協議会 ・【報告】生涯学習社会の基礎を培う教育活動の創造 (篠栗町教育委員会) ・【報告】神奈川県視察について ・【協議】福岡県小中一貫教育の手引 (案) について
1月	○ 小中一貫教育全国サミット参加 (京都市)
2月	
3月	

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。
 ※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。
 ※本事業から経費を支出した事項 (会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など) については、必ず記載すること。

(3) 取組の成果

○ 先進地取組事例 (神奈川県教育委員会及び海老名市教育委員会) の収集
○ 福岡県小中一貫教育の手引 (案) についての作成及び協議
【モデル校 (篠栗中学校篠栗北中学校及び北勢門小学校) における成果指標の達成状況】
・ ICTを活用できる児童生徒の割合 94% (+2)
・ 「問題解決・発見・創造力」等を身につけた児童生徒の割合 74% (+5)
・ 「将来目標」「自尊意識」の質問項目の肯定的回答の割合 69% (+4)
・ 不登校児童生徒出現率 2.3% (+1.8)
・ 「郷土愛」の質問項目の肯定的回答の割合 71% (+1)
・ 「社会貢献意欲」の質問項目の肯定的回答の割合 50% (-1)
・ 「達成感」の質問項目の肯定的回答の割合 58% (-4)
・ 保護者等を対象にした取組への肯定的回答の割合 82% (+17)
※ () 内は昨年度とのポイント差

※ [取組 I] において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。
 ※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(4) 今後の取組予定

<p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度第1回福岡県小中一貫教育推進協議会（7月）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・【報告】生涯学習社会の基礎を培う教育活動の創造（篠栗町教育委員会） ・【協議】福岡県小中一貫教育の手引（案） ○ 協力町における実践報告会の実施 ○ 小中一貫教育全国サミット参加 ○ 平成30年度第2回福岡県小中一貫教育推進協議会（2月）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・【報告】生涯学習社会の基礎を培う教育活動の創造（篠栗町教育委員会） ・【報告】福岡県小中一貫教育の手引
--

※ [取組Ⅰ] における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ－	篠栗町教育委員会	
Ⅱ－		
Ⅱ－		
Ⅱ－		
Ⅱ－		

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。また、通し番号は、Ⅱ－1、Ⅱ－2、…とすること。

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ-40

※都道府県教育委員会において記載すること

1. 市町村教育委員会等の名称

:

住所	: 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4 855番地5
代表者職・氏名	: 教育長 西 邦彰

2. 取組の名称

: ひと・社会に貢献しながら自分を高め続けることができる子どもの育成

3. 取組Ⅱの実績

:

(1) 取組のねらい

- | |
|--|
| ①「篠栗町小中一貫教育教科カリキュラム」「篠栗町志教育カリキュラム」を実践し、指導内容・方法を検証するとともに、カリキュラムと指導の改善を行う。
②小中相互の乗り入れ授業、小学校部活動、合同行事、地域貢献活動、地域・小中PTAの連携についてのしくみを構築する。
③篠栗町小中一貫教育について、その成果を全県を対象に発表し、併せて事業について協議を行う。 |
|--|

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。
 ※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成29年度）

4月	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回校区别小中一貫校区推進協議会（校区别設定日／会場：各校区中学校） <ul style="list-style-type: none"> ・校区事業推進計画についての審議 ○第1回篠栗町小中一貫教育推進協議会（5月31日／会場：篠栗北中学校） <ul style="list-style-type: none"> ・町事業推進計画及び各校区事業推進計画の報告 ○第1回校区别小中合同研究会（校区别設定日／会場：各校区小中学校） <ul style="list-style-type: none"> ・「篠栗町志教育カリキュラム」に基づく実践開始のための共通理解・協議 ○小中合同行事、異年齢交流活動、「志教育」に基づく自然体験・地域貢献活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「小中合同あいさつ運動（両校区）」「異年齢交流遠足（篠栗北中）」 ○小学校高学年における専科（音楽）指導実施（篠栗北中校区：中学校教員乗り入れ）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育推進運営委員会（6月29日／会場：役場） <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業計画についての審議 ・平成30年度全町導入に向けての方向性及び準備の確認 ○小中一貫教育PRリーフレット配布（校区児童・生徒全対象）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○篠栗北小中一貫校区アンケート実施（7月上旬）【資料1-①】 ○第1回篠栗町小中一貫教育推進委員会（7月5日／会場：篠栗北中学校） <ul style="list-style-type: none"> ・1学期推進事業報告、今後の計画確認（町・各校区） ○第1回福岡県小中一貫教育推進協議会（7月18日／会場：吉塚合同庁舎） <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業報告及び今後の事業計画報告 ○小中一貫教育推進運営委員会（7月27日／会場：役場） ○小中一貫教育研究発表会の案内送付（第1次）篠栗北中・北勢門小

8月	○幼小中一貫教育合同研修(8月22日/会場:クリエイト篠栗大ホール) ・篠栗型小中一貫教育における町内全教職員の共通理解 (講師:宗像市教育委員会指導主事 福岡教育事務所指導主事 福岡教職員大学員教授) ○第2回校区別小中合同研究会(校区別設定日/会場:各校区小中学校) ・後期実践についての内容・方法の審議
9月	○第2回校区別小中一貫教育推進協議会(校区別設定日/会場:各校区小中学校) ・篠栗中校区(地域貢献活動等) 篠栗北中校区(研究発表会打合せ) ○研究発表会の案内送付(第2次)
10月	○第3回校区別小中一貫教育推進協議会(校区別設定日/会場:各校区小中学校) ・篠栗中校区(子ども会議等) 篠栗北中校区(研究発表会打合せ)
11月	○篠栗北中学校・北勢門小学校地教委連絡協議会指定研究発表(11月16日/会場:篠栗北中学校・北勢門小学校)(文部科学省指定中間報告・県訪問指導)【資料2】 ○篠栗中校区小中一貫校区アンケート実施(11月下旬)【資料1-②】
12月	○第2回小中一貫教育推進委員会(12月18日/会場:篠栗北中学校) ・本年度事業報告(成果と課題、今後の方向性) ○第2回福岡県小中一貫教育推進協議会(12月25日/会場:吉塚合同庁舎) ・実施事業報告及び今後の事業計画報告
1月	○小中一貫教育推進運営委員会(会場:篠栗北中) ・平成30年度事業の方向性及び準備の確認 ・第2回小中一貫教育推進協議会の打合せ ・アンケート結果の考察 ・小中一貫教育全国サミット参加(1月25日26日/会場:京都)
2月	○第2回小中一貫教育推進協議会(2月5日/会場:篠栗北中) ・平成29年度事業報告及び平成30年度事業の方向性 ・協議会の在り方検討
3月	文部科学省事業報告

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項(会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など)については、必ず記載すること。

(3) 取組の成果

<p>【取組①について】</p> <p>○新学習指導要領の方向性及び篠栗町の児童生徒の実態に基づき、小中学校において重点的に育成すべき資質・能力を発達段階に応じて明確にした、「篠栗町小中一貫教育カリキュラム(平成28年度作成)」を改善し、実施した。(資料 研究紀要P. 88)</p> <p>○このカリキュラムに基づき、校区別小中合同研修を実施し、目標、取組、内容、方法等を共通理解し、小中教職員の小中一貫教育への意識改善が促進された。</p> <p>○このカリキュラムをコアとし、篠栗北小中一貫校区では、資質・能力を重点的に指導する教科についての指導内容・方法の系統表の作成開始することができた。</p> <p>【取組②について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動、国語、音楽の小学校への中学校教師乗り入れ授業の実施。 ・学期に1回の小学生部活動ウィークの実施。 ・志教育カリキュラムにおける小中合同活動の実施(あいさつ運動・地域貢献活動) ・中学校体育会への小学生種目の導入・中学校部活動生による小学校運動会の部活動行進 <p>○以上のような取組実施に伴い、校区別に小中合同研修を定期的に実施したことで、小中の児童生徒の交流が盛んになり、小中の教員同士の連携が強化された。</p> <p>○また地域貢献活動を小中合同で実施するにあたって、校区別の協議会を開催し、地域や家庭、学校との連携が進んだ。</p> <p>【取組③について】</p> <p>○平成29年11月16日、篠栗北中学校・北勢門小学校が合同で研究成果を全県を対象に発表した。発表会には多くの参加があり、篠栗型小中一貫教育について全県へ向けて発信するとともに、篠栗町内の幼小中全ての教員が参加し、篠栗型小中一貫教育に対する共通理解を深めることができた。</p> <p>○発表会後の小中一貫教育推進委員会や県の小中一貫教育協議会では、事業についての成果や課題を報告し、今後の方向性を確認、協議することができた。</p>

※[取組Ⅱ]において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(4) 今後の取組予定

■ 1 平成29年度基本方針

- 北勢門小学校・篠栗北中学校においては、小中一貫教育を一部実施する。
- 勢門小学校・篠栗小学校・篠栗中学校においては、現行の県指定研究・地教連指定研究の研究成果の中から小中一貫教育の教科の中心カリキュラムを決定する。それぞれの研究を汎用化するとともに、「勢門小・篠栗小・萩尾分校で共通化して実践する内容」「小中で一貫化する内容」を決定し、一貫教育の構想をつくりあげる。
- 小中一貫教育推進協議会を軸とし、保護者・地域に対する啓発活動及び公聴会を実施する。
- 活動をつくる上では、一つひとつの活動の効果が最大限発揮されるようにする。

■ 2 各中学校区の特性に応じた取組の推進

- 共通の目標設定と組織運営の充実
 - 北中校区：研究主題の統一、合同研究、校務分掌組織の機能化
 - 篠中校区：ゴール像の共有、推進組織体制の確立、小小連携の推進
- 家庭・地域コミュニティとの連携強化
 - ・校区別小中一貫推進協議会の充実
 - ・小中一貫教育の教育活動における成果や課題等の積極的発信
 - ・地域主催行事に際しての児童生徒の積極的参画
 - ・P T A活動の組織、運営における小中連携の推進
- 共通の目標設定と組織運営の充実
 - ・北中校区：研究主題の統一、合同研究、校務分掌組織の機能化
 - ・篠中校区：ゴール像の共有、推進組織体制の確立、小小連携の推進
- 家庭・地域コミュニティとの連携強化
 - ・校区別小中一貫推進協議会の充実
 - ・小中一貫教育の教育活動における成果や課題等の積極的発信
 - ・地域主催行事に際しての児童生徒の積極的参画
 - ・P T A活動の組織、運営における小中連携の推進
- 合同研修・研究授業等の効果的推進
 - ・共通の目標の達成に向けて、指導内容や指導方法等についての共通理解を図るために、小中、幼小、小小間で授業を参観し合う
 - ・定期的な小中一貫合同の職員研修の実施、小小間の合同学年会議の推進
- 一貫性のある授業スタイルの確立
 - ・対話活動、思考の見える化、生徒指導の三機能を発揮させる活動設定等、各中学校区で一貫した授業スタイルを確立する
 - ・中学校の授業体験、出前授業、中学校教員の乗り入れ等の積極的実施

■ 3 教育委員会の取組

- 幼小中一貫教育全員研修会の実施
- 町主催研修会の小中一貫教育を踏まえた内容への改善
- 小中一貫教育推進協議会の実施
- 幼小中一貫教育推進事業アンケートの実施
- 第Ⅱ期篠栗町小中一貫教育基本方針の策定

		勢門小学校	篠栗小学校	篠栗中学校	北勢門小学校	篠栗北中学校
第Ⅰ期	H 2 8	県重点課題指定研究(体力) 小中一貫構想期間	地教連指定研究(外国語) 中一貫構想期間	地教連指定研究(教科指導) 中一貫構想期間	小中一貫準備期間 地教連指定研究(一貫)	小中一貫準備期間 地教連指定研究(一貫)
	H 2 9	県重点課題指定研究(体力) 小中一貫構想期間	地教連指定研究(外国語) 特支教育研究、一貫構想期間	健康教育・特別支援教育研究 地教連指定研究(教科指導) 小中一貫構想期間	小中一貫教育部分実施、研究発表(一貫) 篠栗町小中一貫教育推進協議会による審議・答申	
	H 3 0	小中一貫準備期間 (一部実施)	地教連指定研究(外国語) 小中一貫準備期間(一部実施)	地教連指定研究(教科指導) 小中一貫準備期間(一部実施)	小中一貫教育完全実施 ICT化推進 第Ⅱ期基本方針策定「組織・内容・方法」重点の改善・充実	
第Ⅱ期	H 3 1	小中一貫教育完全実施			小中一貫教育完全実施	
	H 3 2	篠栗町小中一貫教育推進協議会による審議・答申				
	H 3 3	第Ⅲ期基本方針策定 「環境・設備」重点の改善・充実				

※ [取組Ⅱ]における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。
 ※必要に応じて、適宜、枠を広げること。